

令和3年度狛江市前期基本計画の指標等に係る市民アンケート 調査報告書 (一部抜粋)

5. 標本誤差

本アンケートは、無作為により抽出された満18歳以上の市民を対象に行ったものであり、全数調査を行った場合に得られる調査結果と誤差が生じる可能性がある（標本誤差という）。

全数調査を行った場合の母集団をNとし、本アンケートの標本数（回答数）をn、設問に対するある回答の比率をpとすると、標本誤差は次の式で表される。

$$\text{標本誤差} = \pm 2 \sqrt{2 \times \frac{N-n}{N-1} \times \frac{p(1-p)}{n}}$$

上記計算式から求められる本アンケートにおける各標本数及び各回答比率の標本誤差は下表のとおりとなる。

例えば、ある設問に対して852人が回答し、その内ある回答の比率が30%であった場合、その回答比率の誤差の範囲は4.41%以内（25.59%～34.41%）とみることができる。

回答比率 標本数	90%又は 10%程度	80%又は 20%程度	70%又は 30%程度	60%又は 40%程度	50%程度
852	± 2.89%	± 3.85%	± 4.41%	± 4.72%	± 4.82%
800	± 2.98%	± 3.98%	± 4.56%	± 4.87%	± 4.97%
700	± 3.19%	± 4.26%	± 4.87%	± 5.21%	± 5.32%
600	± 3.45%	± 4.60%	± 5.27%	± 5.63%	± 5.75%
500	± 3.78%	± 5.04%	± 5.78%	± 6.18%	± 6.30%

※なお、上記計算式の信頼度は95%である。

6. その他

- ・百分率（%）の計算は、小数点以下第2位を四捨五入して算出しているため、百分率の合計が100%にならない場合がある。
- ・クロス集計においては、百分率（%）の計算は、小数点以下第1位を四捨五入して算出しているため、百分率の合計が100%にならない場合がある。また、回答数及び構成比の割合と異なる場合がある。なお、0及び小数点以下第1位を四捨五入して0になる値は数値を表記していない。